

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	サポートキッズうけんのいえ		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 28日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 2月 28日 ～ 2025年 3月 21日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童が安心感を持って楽しみながら通う事ができており、その中でも日々支援を楽しみながら参加する事ができている。	環境作りや職員との関わりの工夫などを取り組み、支援内容も固定化にならないよう意識して行っている。	児童一人ひとりや、全体での活動が有意義なものになるよう取り組んでいく。
2	様々な専門職員からの専門的支援を行えている。	個々のニーズに合うよう専門職員同士での連携を図りながら個別に計画書を立てて、支援を行えている。	会社全体で様々な専門職員がいる事から、巡回などを行い、更に違う視点からも見ることができるよう支援を行っていきたい。
3	家族同士が関われるイベントを開催している。	運動会や親子遊び、他事業所との合同イベント等児童だけではなく保護者同士が顔を合わせられる機会を提供できるよう取り組んでいる。	保護者だけの集まりを増やしながら更に保護者同士の連携が図れるよう取り組んでいきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	マニュアル等の提示方法や周知	契約時に説明後取り組みを事業所内でしか周知していない。	今後連絡ツール等を使って保護者がいつでも閲覧できるようにし、訓練等を行った際にも連絡を行い、確実に実施した事を知らせていきたい。
2	研修会への情報提供や参加等	現行研修会や研修等の情報提供を行っているが、参加できる人数が少なかったり、あまり周知されていない。	今後は保護者のニーズを踏まえて研修日数を増やしたり、連絡ツールなどを使って研修会等の周知を確実に行っていきたい。
3	交流面について	午前中利用している児童さんは交流する機会があるが、午後から利用する児童は交流場面があまりない。	様々な保育園、こども園さんに協力を頂きながら、子どもたちが関われる機会を増やし、イベント等を一緒に取り組めるよう今後行っていきたい。